

LOGIC JAM 放送機材展 2019

(株)ロジックジャム（本社：北海道札幌市／代表取締役：舟倉 聡）は令和元年 8 月 28 日（水）9 時30 分～18 時にロイトン札幌（札幌市中央区北1 条西11 丁目）3 階ロイトンホール A・B おいて、「LOGIC JAM 放送機材展2019」を開催した。

主催者である(株)ロジックジャムは通常業務においては放送用及び業務用の映像メディアに関するシステムの設計・施工及び商品の販売及び上記関連特注品の制作及びソフトウェアの製作などを行っており、同展では主要な放送機器メーカーが各種最新機器や装置を展示している。

2002 年から開催されているこの展示会は、わずか 1 日だけ開催している展示会ではあるものの、昨今では 40 社を超える出展社数となり、北海道内のユーザー

が実機を体験するには格好の場となっており、業界の展示会のために東京方面に向かなければならないというネックを解消した展示会といえる。

また、来場したユーザーにとっても、業界の方向性や最新機器の体験、そして機器の比較の場になっている。時期は毎年 8 月下旬～9 月上旬に開催しており、ユーザーにとっても収穫がある道内で唯一の放送機器の展示会となっている。

～セミナー～

ブラック・マジック・デザイン「DaVinci Resolve 編集編」／吉積情報「Gsuite を活用した働き方改革とCmosy で実現する大容量映像ファイル共有」／ブラック・マジック・デザイン「DaVinci Resolve カラーグレーディング編」／吉積情報「Gsuite を活用した働き方改革とCmosy で実現する大容量映像ファイル共有」／MEDIAEDGE「映画監督の視点から見たDavinci Resolve の魅力」



ロイトン札幌外観(公式ホームページより)

ル共有」／MEDIAEDGE「映画監督の視点から見たDavinci Resolve の魅力」

朋 栄

今後の実運用に欠かせない製品として、「HDR サイマル制作」「アーカイブ」「スポーツリプレイ」「簡易中継」の分野に即した製品/ソリューションを展示した。

■ HDR サイマル制作

● 12G-SDI 対応シグナルプロセッサ「FA-9600」：12G-SDI 対応シグナルプロセッサ。標準でHD 2 系統のフレームシンクロナイザー、オプションで 4K 1 系統への対応をはじめ、HDR/WCG の各種変換、アップ/ダウン/クロスコンバーター、12G/3G 変換、2SI/SQD 変換など、各種機能を搭載可能。4K SDR 素材から4K HDR 素材を生成したり、4K HDR 素材からダウンコンバートHD SDR 素材を生成するのに最適。新バージョンでは、オプションで3D-LUT モードの追加、SR Live for HDR ワークフローに対応。



<https://www.for-a.co.jp/products/fa9600/>



■ アーカイブ

● LTO サーバー「LTS-80」：4K 時代に求められる大容量ファイルのアーカイブやバックアップをサポート。最大転送速度300MB/秒(2.4Gbps)のLTO-8 ドライブを搭載し、最大記憶容量12TB(非圧縮時)のLTO-8 テープ

にデータ保存可能。外部ストレージからの高速データバックアップや、LTO テープと外部ストレージ1 カ所への同時コピーも可能。

<https://www.for-a.co.jp/products/lts80/>



■ スポーツリプレイ

● インスタントリプレイシステム「Envivo Replay」：2U サイズの筐体で、6 入力2 出力を実現したリプレイシステム。直感的なインターフェースを採用し、タッチパネル上で操作が可能。マルチカメラ収録映像からスーパースローモーション映像を作成したり、映像にグラフィックスを追加することが可能。SDI 入出力



のほか、NDI® 入出力、Dante® オーディオ入出力にも対応。(米国 Variant Systems Group 社)

■ 携帯回線利用 簡易中継

● モバイルネットワークルーター「Dejero GateWay Router」：携帯回線やWi-Fi など複数回線をブレンディングし、高速インターネット環境を構築可能。現場からニュースルーム



やメディア資産管理システムにアクセスしたり、大容量ファイル送受信、クラウドサービス利用、VoIP を使った通話など、インターネットワークフローを拡張。(カナダ Dejero 社)

https://www.for-a.co.jp/import/dejero_gateway/



● H.265/HEVC 対応簡易中継装置「Dejero EnGo/PathWay」：ビデオ映像をH.265/HEVC でエンコードし、6 つの携帯回線をブレンディングし、ネットワークを広帯域化して伝送する簡易中継装置。ポータブルなEnGo、ラックマウント型のPathWay。ニュース取材、スポーツ報道、ライブイベントなど、遠隔地のイベント映像/取材映像を放送するのに理想的なソリューション。(カナダ Dejero 社)

https://www.for-a.co.jp/import/dejero_engo/



● H.265/HEVC 対応4 チャンネル受信装置「Dejero WayPoint」：中継装置のDejero EnGo/PathWay でエンコードされ、複数の回線を使用して送られてくる映像をデコードし、SDI 出力するための受信装置。コンパクトな1U ラックマウントの筐体1 台で、4 台の中継装置からの映像を受信することが可能。(カナダ Dejero 社)

https://www.for-a.co.jp/import/dejero_waypointserver/



オタリテック

同社取扱いの Riedel 社のワイヤレス・インカムシステム「Bolero」とインターフェイス「Medior Net MicroN」、オタリの光ファイバー伝送システム「LWB-24 / LWB-72」などを出品した。

■ワイヤレス・インカム・ソリューション RIEDEL「Bolero」

ライセンスフリーの 1.9 GHz 帯を利用する拡張可能な DECT ベースのフルローミング・インカム・システム。RIEDEL「Artist」デジタル・マトリクス・インカム・プラットフォームと完全に一体化される「Bolero」は、優れたワイヤレス・ベルトパックとしてまたワイヤレス・キーパネルとして、そして業界初でウォークトーカーキー無線機としての3通りの使い方を実現できる豊富な機能と接続能力を備えている。AES67 規格準拠の IP ネットワーク上で動作し、分散型アンテナが AES67 スイッチに次いで AES67 クライアント・カード搭載の「Artist」フレームにつながって、シームレスなローミング能力を持つ一体型の 1 対 1 インカム・システムとなる。システムにとってベルトパックは RIEDEL 製のパネルのように見えるがそれはワイヤレスであり、柔軟にシステムを構築することが可能になっている。明瞭度の高い「Bolero」のボイス・コーデック



Riedel Bolero

<http://www.otaritec.co.jp/products/riedel/bolero/index.html>



は優れた了解度を実現し、RF スペクトルをさらに有効利用できるようにして、他の DECT ベースのシステムと同じ音声帯域幅でアンテナが2倍のベルトパックを扱えるようにした。このコーデックは優れた遅延特性を持つと同時に処理パワーを極めて効率的に利用し、ベルトパック・バッテリーの持ち長くし、DSP の処理パワーを他の機能用にセーブすることができる。

■インターフェイス「Medior Net MicroN」

音声/映像/データ入出力を多数装備した多機能インターフェイス。

SMPTE ST 2110/AES 67/NMOS に準拠しており、映像/音声ならびにベースバンド映像 (SDI) と音声 (MADI) をサポートしている。音声エンベディング/ディエンベディングやフレーム同期、サンプル・レート変換、音声/映像遅延、信号ルーティング、オンスクリン表示を含む内蔵機能との組み合わせで、「MicroN IP App」はこのデバイスをあらゆる IP 接続ニーズに応える汎用ツールへと変身させる。

同時にこのデバイスは既存のあらゆる「MediorNet」製品とネットワーク化が可能である。「MicroN IP App」はスタンドアローンの SDI → IP コンバーターから、多数の異なる IP ゲートウェイやベースバンド入出力を持つネットワーク化されたシステムまで広く対応する。



Medior Net MicroN

http://www.otaritec.co.jp/products/riedel/mn_micron.html



■光ファイバー伝送システム「オタリLWB-24/LWB-72」(OTARI Lightwinder Broadcasting)シリーズ

オタリ「LWB-24/LWB-72」は、中継放送現場等で扱われるHD-SDI 信号やオーディオ信号など、様々な信号をデジタル変換して光ファイバーで伝送する装置。

多様な要望に応え、周辺機器やモジュールも充実しており、既に多数の国内導入実績を持っている「LWB-16 M/LWB-64」の次世代機にあたるモデルである。スタジアム全体やゴルフ場などの広大なフィールドをカバーする。

ユニット数は最大接続 24 台が可能で、最大伝送チャンネル数は 2048 チャンネル (48kHz デジタル・オーディオ換算) に大幅拡大している。

効率性を高めるステレオ・ペア単位でのサンプリング周波数設定。マルチドロップ・ルーティング可能な内蔵4チャンネルHD-SDI 映像モジュール。マトリクス・ミキサー/シグナル・ディレイ機能。細部まで利便性を追求した仕様。互換性/新モジュール/レトロフィット・キット。

などの特徴をもつ。



LWB-24/LWB-72

http://www.otaritec.co.jp/products/otari/new_lwb.html



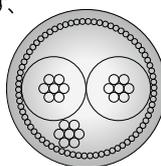
MULTICORE AES/EBU & DMX SNAKE CABLES

MOGAMI

AES/EBU & DMX マルチケーブル

世界の定番として定着したモガミのマルチ・マイクケーブル同様に柔軟で細く、加工や施行が容易で取り扱いの楽な 110Ω AES/EBU & DMX 信号用のマルチケーブルです。

- 発泡PP絶縁体使用によりコンパクトな仕上がり外径にもかかわらず、太いサイズの導体が使われており低減衰量の実現されております。
- その他、アナログ用のマルチケーブル同様、下記の特長を有します。
 - ナンバリング等による容易なコアの識別
 - 同一サイズのドレインワイヤによる配線の容易さ
 - 柔軟で低温特性の良いジャケット材



モガミ電線株式会社

お問い合わせ

モガミ電線株式会社 PHONE: (0263) 52 0131 E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: http://www.mogami-wire.co.jp

伊藤忠ケーブルシステム

<4K ファイルワークフロー>

伊藤忠ケーブルシステムは、ファイルフォーマット変換を中心とした4K ファイルワークフローの展示した。

元素材を編集や配信用に何種類ものフォーマット変換する作業は時間がかかり、また設定間違いが起りやすい状況がある。

今年はこの作業フローに着目しオペレータの負担を軽減する製品を組み合わせたワークフローをコンセプトに展示した。

■Venera Technologies 社QC ツール 「Pulsar」

ファイルワークフローでは、いままでのテープフローでは無かった様々なトラブルが発生している。ワークフローのインプットでは搬入仕様に違反しているファイルを除外することによって無駄な作業の戻り時間を無くすることができる。アウトプットのところではいままで人が目視で行っていたプレビューに加え、目的別にトランスコードしたファイルが相手先の搬入基準に適合しているかどうかのチェックを自動的に行うことによって、オペレータの負荷とミスの軽減をサポートすることができる。

https://www.itochu-cable.co.jp/products/production/QC/Venera_Technologies



■Telestream 社トランスコーダー 「Vantage」

昨今複雑化するファイルフォーマットを理解し、目的別に確実にパラメータ設定をし変換作業を行う工程はトラブル発生率が高く、また人的負担も大きい。「Vantage」を使うことによって複数の目的別ファイル作成を自動化することができ、人的ミスや作業負荷の低減を実現することが可能となる。トランスコーダの定番とも言うべき本製品はすでに全世界で多数の導入実績を有している。

<https://www.itochu-cable.co.jp/products/production/Transcoder/Telestream>



■ターボシステムズ社「XJive MXF Player」

XDCAM/XAVC LongGOP 200Mbps ファイル対応の、同製品を国内初展示した。ジョグシャトルを使ったVTR ライクな再生が可能でプレビュー作業の効率を向上させることができる。

<http://www.turbosystems.co.jp/xjive/xjivemxf.html>



■XenData

ワークフローの最後はアーカイブソリューションとしてLTO / ODA と連携させたXenData 社システムを展示した。同社アプリ



ケーションは数多くの他アプリケーションとの連携実績を有している定番アプリケーションとなっている。大容量で重たい4K ファイルを扱うオペレータの負荷軽減に役立つ機能を紹介した。

<https://www.itochu-cable.co.jp/products/archive/Library/XenData>



■IHSE 社デジタルKVM システム

本提案ワークフローを構成している各PC / サーバ群のコントロールを同社製品で行った。どの端末からも瞬時に目的のCPU にストレス無くアクセスできるハイエンドなスペックはKVM 製品の定番となっている。

<https://www.itochu-cable.co.jp/products/production/kvm/IHSE>



パナソニックシステムソリューションズジャパン

■自動追尾システム搭載HD インテグレートッドカメラ「HE75」

新製品の「HE75」は、1080/60p のフルHD 出力が可能で、HDMI、SDI、USB、LAN の4 種類の出カインタフェースを備えている。外部同期信号の入力端子を搭載し、BBS (Black Burst Sync) や、3 値同期に対応する。また、3 つのズームレンズと1 つのフォーカスレンズが同時に独立して駆動する「4 ドライブレンズシステム」により、レンズを大きくすることなく、ハイズーム (光学20 倍) と大型センサーの搭載を両立し、小型化を実現している。

ドアの開閉や、設置されている音響機器から生じる取付面の振動を検知し、光学式と電子式の両方の4 軸で自動補正することで映像のブレを軽減する。これにより、音楽イベントなど、振動



インテグレートッドカメラ「HE75」

が発生するシーンでもよりブレの少ないクリアな映像を提供できる。ナイトモードは、低照度下でも撮影できる機能で、周囲の照度にあわせた自動切り替えが可能だ。

HDR モードでは、露光時間の異なる2 枚の画像を撮影して合成。これにより、逆光下でも白飛びや黒つぶれを補正した視認性の高い映像を作り出せる。

自動追尾ソフトにより、高性能な動き検知と高精度の顔認証を実現している。この自動追尾ソフトを用いることで、学校の講義で講師を認識して追尾する場合、後ろを含めどの方向を向いてもカメラが追従できるようになった。

▶<https://panasonic.biz/cns/sav/products/aw-he75/>

■4K インテグレートッドカメラ「AW-UE150」

スタジアムやホールなどでの高品位な映像制作に対応する、次世代リモートカメラ。4K/60p の滑らかな高画質映像と、高倍率ズーム、広角撮影が、リモートカメラの撮影シーンの幅を広げる。

さらに、様々な運用形態に合わせてスムーズな4K 撮影を実現する多彩なインターフェイス

を搭載。4K/HD のサイマル運用にも対応している。

1.0 型の大判MOS センサーを搭載し、ノイズを抑えた高感度撮影が可能。1/2.3 型センサーの約4 倍の受光面積により、広いダイナミックレンジを確保。

光学20 倍ズームに加え、高い解像度を保ったまま4K モード時で24 倍、HD モード時で32 倍までの超解像ズームができるi ズームを搭載。遠くの被写体も鮮明に捉える。また、水平75.1° の広角撮影が可能のため、限られた設置スペースでも全体を広く写すことができる。

▶<https://panasonic.biz/cns/sav/products/aw-ue150/>



4K インテグレートッドカメラ「AW-UE150」

池上通信機

■《NEW》2/3型4K CMOS3板式4Kカメラシステム「UHK-430」(CCU-430 オプションモジュールMoIP_GW): ネイティブ4K 2/3型CMOS センサ3板式とB4 レンズマウントを搭載した4K /HD ポータブルカメラシステム「UHK-430」は、次世代カメラシリーズ“UNICAM XE”の最初のラインアップとして誕生した。カメラヘッドとCCU 間の4K 非圧縮信号が伝送可能な「UHK-430」は、妥協なき技術の追求により誕生した Ikegami のフラッグシップカメラ。



UHK-430

<https://www.ikegami.co.jp/archives/menu1/uhk430>



■《NEW》4K/HDマルチパーパスカメラ「UHL-43」: 4K/HD マルチパーパスカメラ Ikegami の放送用 4K システムカメラのフラッグシップモデルである UNICAM XE (UHK-435/430) と同じ2/3 型ネイティブ 4K センサを搭載し、4K ならではの高品質な映像表現が可能な4K/HD マルチパーパスカメラ。4K 対応の12G-SDI 出力のほか、HD/3G-SDI 出力も標準装備。将来の4K システム構築を見据えながらも HD での実運用もサポートする。ワンピースタイプのコンパクト設計のため、様々なアングルから被写体を捉えるパンチルトシステム搭載カメラ、情報カメラなどの用途に最適。



UHL-43

<https://www.ikegami.co.jp/archives/menu1/uhl-43>



■モニター:
4K/HD マルチフォーマットLCD マスターモニター「HQLM-3125X」/4K/HD マルチフォーマットLCD モニター「HQLM-3120W」/「HQLM-1720WR」/マルチフォーマットLCD カラーモニター「HLM-60 シリーズ」
■FPU : 4K・IP 伝送対応 デュアルモード・デジタルFPU 装置「PF-900」/映像パケット化光多重伝送装置 iHTR シリーズ



富士フイルム

超短焦点プロジェクター「Z5000」を展示。「Z5000」は、世界初の「屈曲型二軸回転機構レンズ」を搭載し、本体を動かさずにレンズを上・下・前・後・左・右に切り替え、さまざまな方向へ投写することが可能。大画面デジタルサイネージや美術館、博物館での作品演出などに最適で、壁やスクリーンのみならず、天井や床にも投写ができ、レンズの回転だけで、縦長映像を投写するポートレート投写も簡単に行える。



「FP-Z5000」横置き時

https://www.fujifilm.co.jp/corporate/news/articleffnr_1395.html



わずか75cm の至近距離から100 インチの大画面映像の投写が可能。また、クラス最大となるレンズシフト機能を実現。上下82%・左右35%の広いシフト範囲で投写画像の位置を調整することができる(16:9 横投写時)。大口径非球面レンズを活かし、投写方向ごとに、レンズシフト位置を22 種類の設置パターン全てでメモリする機能を搭載している。さらに、縦置きと横置きの両方に対応しているため、利用環境に合わせた設置を選択できる。本体サイズはクラス最小の厚さ108mm の小型ボディを実現し、収納時はレンズがプロジェクター本体に収まるフラットデザインを実現。丸みを帯びた美しいフォルムのスタイリッシュな外観で、洗練されたデザインを追求している。

この他、放送用ポータブルズームレンズ「FUJINON LA16×8」も展示。同

製品は、Blackmagicdesign の放送用カメラ「URSA Broadcast」専用の 4K 対応ポータブルズームレンズ。16 倍ズームを備え、報道取材やスタジオ撮影に最適。最短 5cm の近接撮影も可能で、幅広い撮影シーンに対応する。質量1.6kg の小型・軽量ボディに、小口径レンズを駆動させるリアフォーカス機構を搭載し、レンズの重心変動が少なく、カメラを担ぎながら撮影する「肩担ぎスタイル」での撮影の負担を軽減する。グリップ部は、高いホールディング性を備えつつ、簡単にスイッチ類を操作できる形状を採用するなど、優れた操作性を備える。



ますます多様化するフィールドで応える柔軟さと確実性

FB
FourBit
株式会社
フォービット
〒358-0014
埼玉県入間市宮寺 2720
TEL : 042-934-7720
FAX : 042-934-5664
TEL : 042-935-0551 (営業部直通)
URL : <http://www.fourbit.co.jp>

PMX-1210

12 × 10 ポータブルデジタルオーディオミキサー
税抜価格 ¥1,950,000



- アナログライクな操作性 見た目そのままの安心感
- EIA19 インチラックに実装可能
外形寸法 W420 × H160 × D460
- カスケード接続による入カチャンネル増設
- AC 電源と DC+12V 電源併用によるリダンダント動作
- マスターアウトのラウドネス計測機能
- TB マイク、モニタースピーカー 内蔵
- ビデオ同期 / ワードクロック同期 / デジタル入力同期

リーダー電子

<https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5600/>



ZEN シリーズ2K/4K/IP/4 入力波形モニター「LV5600」を中心としたラインナップにて出展した。

■ 波形モニター「LV5600」:4K/HD/SD-SDI 信号および4K/HD/SD のIP 信号に対応したハイブリッドタイプの波形モニターで、新機能オプションとして25G 4K-IP とノイズメーターを用意した。多彩な信号入力に対応しており、SD-SDI,HD-SDI,3G-SDI,12G-SDI シングルリンク、3G-SDI デュアルリンク/クワッドリンク、HD-SDI クワッドリンク、IP(ビデオオーバーIP) 対応。

25Gb/s 4K-IP 入力にも対応/タッチパネル機能搭載の7インチフルHDパネルを採用した優れた操作性/SD-SDI から12G-SDI までSDI 信号の物理層測定であるアイパターン表示、ジッター表示が可能/入力信号のビデオ信号波形、ベクトル波形、ピクチャーなど様々なアイテムをお好みのサイズで自由な位置にレイアウトが可能/SDI 信号発生をHD-SDI から12G-SDI まで対応/IP テストパター

ン信号発生機能/IP 伝送規格 (SMPTE ST 2110-20/30/31/40) に対応し、HD、4K (3840 x 2160) のテストパターンを発生/ HDR 信号のレベル監視やOOTF を考慮したディスプレイにおける想定輝度(cd/m²) でのレベル管理が可能/ビデオノイズメーターは入力されたSDI 信号の輝度信号、またはRGB 信号に含まれるビデオノイズを測定/フォーカスアシスト機能は非線形超解像技術を応用した新しいフォーカス検出アルゴリズムを開発し、従来、検出の難しかった低コントラストの映像でも、感度良くフォーカスを検出可能

■ 2K/4K/IP/4 入カラストライザー「LV7600」:SDI & IP ハイブリッド、波形/ベクトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ジェネレーター機能/簡易字幕機能、1U フラックサイズ

■ 2K/4K/2 入力波形モニター「LV5300/LV5350」:LV5300 EYE 付き・LV5350 EYE 無し、波形/ベクトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ジェネレーター機能/簡



易字幕機能、液晶サイズ:7インチ、3U ハーフラックサイズ、電源:DC10V~DC18V

■ 2K/4K/2 入カラストライザー「LV7300」:波形/ベクトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ジェネレーター機能/簡易字幕機能、1U ハーフサイズ、電源:DC10V~DC18V

■ ジェネレーター「LT 4611」:アナログブラック同期信号出力、ゲンロック機能、2重化電源

■ チェンジオーバー「LT 4448」:入出力 BNC11 組、LTC のチャンネル、対応信号:SDI 信号、NTSC /PAL ブラックバースト信号、HD 3 値同期信号、AES/EBU デジタルオーディオ信号、ワードクロック信号、LTC 信号・2重化電源・異常アラーム(対応機種:LT 4600A,LT 4610,LT 4611)

ソニービジネスソリューション

Crystal LED ディスプレイシステムや CineAlta カメラ「VENICE」を道内初出展。

■ Crystal LED ディスプレイシステム: 独自開発の極めて微細なLEDを使った、ユニット構成型のスケーラブルなディスプレイシステムであり。既存のディスプレイでは表現しきれない高画質と没入感で新たな領域の映像体験を可能にした。

幅約40cm、高さ約45cmのディスプレイユニットに115,200画素敷き詰められたCrystal LEDは、開発思想、製造手法ともに、これまでのLEDディスプレイデバイスとは全く異なるアプローチによって開発されている。画面表面にR/G/Bの極めて微細なLED素子を配置した画素を、画素ごとに駆動させる自発光のディスプレイ方式を用いており、RGBを1画素とする光源サイズは0.003mm²と極

めて微細なため、画面表面の黒色が占める割合を99%以上に高めることができ、素子の広配光性能などと合わせることで、高コントラストと広色域の豊かな映像表現を可能にした。

<https://www.sony.jp/crystal-led/>

■ CineAlta カメラ「VENICE」:

新たにHFR やリモートコントロール機能も実装した、36×24mmフルフレームCMOS搭載の次世代CineAltaカメラ。

4K2.39:1で最大110fps、6K3:2で最大60fps、4K17:9で最大110fps、4K4:3で最大75fpsのハイフレームレート撮影に対応。また、700Pプロトコルに対応し、RM-B750/B170やRCP-1500シリーズによるリモートコントロールが可能。さらに、ペイント、アイリス、RECスタート・ストップ、クリップコントロールなども可能に



<https://www.sony.jp/is-camera/products/VENICE/>

■ カムコーダーハンズオン「FS7 II/FS5 II/PXW-Z450/PXW-Z280」など

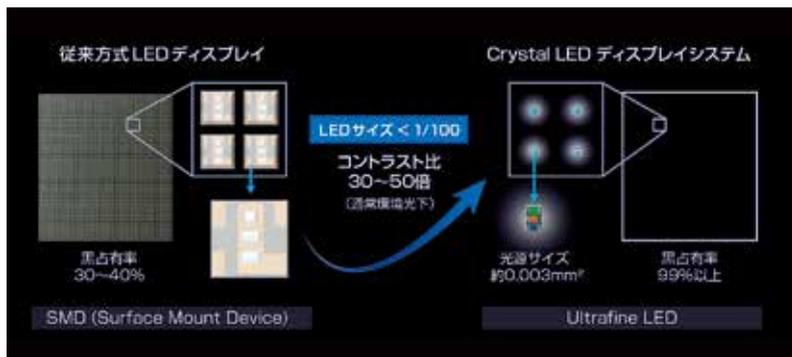
■ モニター「4K/HDR マスターモニター BVM-HX310/LMD-A シリーズHDR 対応」など

■ プロオーディオ「UWP-D シリーズ、防滴B帯デジタルワイヤレス」など

■ 映像コンテンツアーカイブソリューション: 豊富なメタデータと充実した機能による効率的な素材管理オペレーションを実現

■ スマホ用インカムアプリ「Callsign」: 既設インカムシステムとも連携アプリをインストールするだけでどこでも誰とも接続可能

■ 業務用BRAVIA: BRAVIAをつかった様々なサイネージソリューション。どんな場所も「絶景が見える」空間に。4K/8Kピクチャーウィンドウを紹介。





▶ <https://www.astrodesign.co.jp/product>

アストロデザイン

■ 3G/HD-SDI 対応 PID チェッカー「SD-7822」: 4K や 8K の制作現場で頻繁に発生するケーブルの接続トラブルに役立つ、ハンディサイズの PID チェッカー。3G/HD-SDI 信号の

フォーマット情報、音声パケットの有無、タイムコード情報等を手軽に確認できる。



https://www.astrodesign.co.jp/astro_update/Catalog/DM_WM/SD-7822-2.pdf



■ 12G-SDI 信号発生器「VG-886」: 3G/6G/12G-SDI 出力、HD、4K、8K までサポートする小型信号発生器。カラーバー(100%/75%)、ラスタ (W/Gray と、



チェックフィールド (パソロジカル)、ランプ、クロスハッチ、マルチバースト、ブラック等のパターンを出力。

<https://www.astrodesign.co.jp/product/vg-886>



■ 12.5 インチ 4K 液晶モニター「DM-3417」: 12G/3G-SDI 入力、HDR 対応の小型



4K モニタ。▽ Bodycamera : 4G LTE/3G 用 SIM を内蔵し、遠隔地の映像をリアルタイムでモニタリングする軽量、コンパクトなウェアラブルカメラ。撮影現場からアップロードされた映像/音声はクラウドサーバー上で管理。中継現場やイベント運営、遠隔設備のメンテナンスなどに最適。

<https://www.astrodesign.co.jp/product/dm-3417>



■ Body Camera 「ACW- P1000」: Body Camera (ウェアラブルカメラ) は人間が身につけて撮影を行う携帯型カメラ。警備やイベント運営スタッフ、遠隔メンテナンスなど、さまざまな映像記録において、オールインワンで軽量・コンパクトなウェアラブルカメラ。



<https://www.astrodesign.co.jp/product/acw-p1000>



三友

新しく取り扱いを開始した超小型放送用HD/4Kカメラ「Dream CHIP ATOM one」を使った撮影・配信のソリューションや360度3D VRカメラKANDAO社「Obsidian」など展示。

「Dream CHIP ATOM one」は、3G-SDI/12G-SDI 出力を備えた超小型の放送用カメラ。このカメラはソニーのIMXシリーズのイメージセンサーをベースにしており、優れた画像性能を提供する。ATOM one Family に



Dream CHIP ATOM one

は、Full HD、UHD、4K のタイプがある。

<https://www.mitomo.co.jp/products/dreamchip-atomone-family/>



また、360 度 3DVR カメラ KANDAO 社「Obsidian」は、ステッチング、ビデオエンコード、ストリーミング配信に至るまで、豊富な機能を持つ総合的なソフトウェアソリューションが付属している。全てのソリューションは業界標準フォーマットをサポートしており、既存のワークフローに簡単に接続できる仕様となっている。



KANDAO 「Obsidian」

全てを最小限に設計された金属のボディに6つの4Kセンサーを搭載/3D 360°ビデオ、写真、タイムプラスでの撮影をカバー/高品質の立体パノラマを自動生成するディープラーニングスティッチング/観客に真の存在感を提供する4K3Dのライブブロードキャストなどの特徴をもつ。

<https://www.mitomo.co.jp/products/kandao-obsidian/>



この他にも、「QooCam」、小型タイムコードジェネレーター「TENTACLE SYNC E」、プロフェッショナル機材ケース「Porta Brace」、「ORCA バッグ」、ドイツ製折りたたみ式2段カート「クルーズカート」などを展示した。

MOGAMI LAN CABLE

MOGAMI

モガミーイーサネットケーブル

敷設-撤収を繰り返す可動的用途専用LANケーブル

PA/屋外使用等、敷設・撤収を繰り返す可動的な用途向けに特別に設計したイーサネットケーブルです。柔軟なため床に平らに引き回せ、通常のフィールドワークに耐える十分な機械的強度があります。特性値はTIA/EIA-568B Category 5e を完全に満足します。

RJ45コネクタとの接続に工夫が要りますので通常は両端にコネクタを付けた形で販売致します。受注時の長さは最大300mまで自由に指定出来ます。不具合発生時の無償修理保証期間は1年ですが、保証期間後も有償でコネクタの取り付けを致します。コネクタ付け替えに際してはその都度先端切り落とし部分の長さが短くなります。

Part No.
3306



モガミ電線株式会社

お問い合わせ

モガミ電線株式会社 PHONE: (0263) 52 0131 E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: <http://www.mogami-wire.co.jp>